

# 甲佐町住まいの復興拠点施設整備 設計者選定プロポーザル

熊本地震により被害を受けた甲佐町は、災害公営住宅の他に、子育て支援住宅と都市防災公園を役場隣接地に一体的に整備し、震災からの復興や町活性化のシンボルとして、町の顔となる町民交流の拠点づくりに取り組んでいる。アートポリス事業により広く発信することで、熊本の復旧・復興を国内外にアピールするとともに、震災からの復興モデルの提案を広く求めるため、公募型プロポーザルにより設計者を選定することとした。

全国から24件と多くの応募があり、一次審査で二次審査に進む5者を選定。平成29年7月3日に甲佐町生涯学習センターにおいて、公開審査(来場者:約150名)を開催し、伊東コミッショナーらの選考により、最優秀賞に『岡野道子建築設計事務所+ビルディングランドスケープ(東京都)』を選定した。また、最優秀賞受賞者と共同体を組み設計業務を行う県内共同事務所に、事務所の体制、実績及び配置予定技術者など総合的に判断し、ライト設計(熊本市)を選考した。

最優秀賞

## 岡野道子建築設計事務所+ ビルディングランドスケープ (東京都)

### 講評(評価のポイント)

選考の基準は、都市防災公園と融合した全体の配置構成や子育て支援住宅と災害公営住宅におけるプランニングなどに加え、将来の可能性が広がる災害公営住宅の考え方がポイントになった。

「南南東の卓越風を活かした風の道」、「西風を取り込むウインドキャッチャー」、「季節・時間毎の快適な自然採光」という『風を足し、光を操る』といった、甲佐町をデザインすることを大きなテーマとして全体構成が考えられていることが他の案にない魅力であった。また、子育て支援住宅において、災害公営住宅同様、各住戸に土間空間や玄関先の交流空間が設けられていたり、1階のキッズスペース(集会室)が交流スペースや「みんなの原っぱ」(都市防災公園の中央部)と一体的に利用できるとともに、敷地全体でコミュニティの繋がりが考慮されていることも高く評価された。さらに、将来2戸をひとつにすることを想定されている計画であることも最終判断の要因となった。総合的にバランスのとれた安心できる提案であり、甲佐町をアピールできることも好感された。



最優秀賞受賞者の皆さん  
前列中央/岡野 道子氏(岡野道子建築設計事務所)  
前列右/山代 悟氏(ビルディングランドスケープ)



鳥瞰(敷地全体)

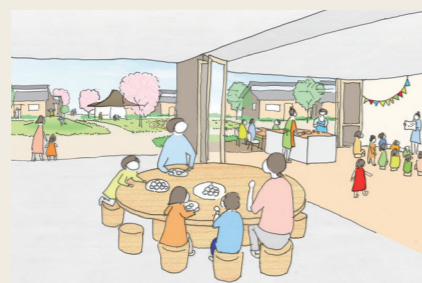


外観(みんなの家+災害公営住宅)



内観(災害公営住宅)

※模型やパースは、提案内容をイメージ化したものです。



交流スペース+キッズスペース(子育て支援住宅)

### 受賞コメント

甲佐町は、水田の広がる豊かな環境にあり、自然と共に暮らす新たな町のモデルをつくる可能性で満ち溢れています。仮設団地でみんなの家をつくり、住民の方々と時間を共有した経験を生かし、復興のシンボルとなるようなまちづくりの一助になればと願っています。(岡野 道子氏)

### 事業概要

- 事業者:甲佐町 ○建設地:上益城郡甲佐町豊内718番地1他 ○敷地面積:約12,800㎡
- 計画規模:(1)災害公営住宅:30戸(木造平屋建て)、「みんなの家」を併設
- (2)子育て支援住宅:20戸(鉄筋コンクリート造中層)
- (3)都市防災公園:約3,000㎡

### 審査員



審査員長  
伊東 豊雄氏 KAPコミッショナー  
桂 英昭氏 KAPアドバイザー  
末廣 香織氏 KAPアドバイザー  
曾我部 昌史氏 KAPアドバイザー



奥名 克美氏 甲佐町長  
師富 省三氏 甲佐町副町長  
志戸岡 弘氏 甲佐町建設課長

### 公開審査の状況



### 優秀賞

## 株式会社 アトリエ・アンド・アイ(東京都)

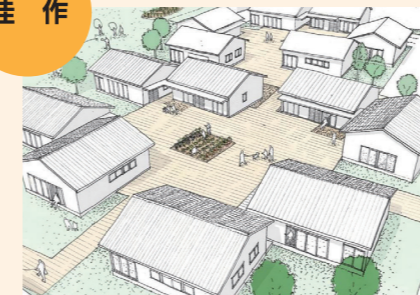


### 評価のポイント

全体配置のバランス等に成熟した建築手法が感じられた。災害公営住宅の区画割りは「自分たちの庭である」と実感がもてるもので、それらを繋ぐ「菜園の小径」もコミュニティの媒体として考慮された計画であった。



### 佳作



## ワークステーション・モードフロンティア・ KAY設計共同体(神奈川県)

随所に住戸の独立性を確保しながらコミュニティの形成を促す工夫が施された計画であった。



## 野沢正光建築工房(東京都)

時間の経過と共に魅力ある住環境に育つことをイメージできるような計画であった。



## 株式会社シーラカンズアンド アソシエイツ(東京都)

具体的な提案や事例を研究された住戸平面計画であった。

## 仮設住宅の経験を災害公営住宅に活かす ～アートポリスで熊本モデルの災害公営住宅～

熊本県が掲げる復旧復興の3原則を凝縮した熊本モデルの応急仮設住宅。その経験を活かし、「あんしん」と「あたたかさ」と「ふれあい」のある災害公営住宅を整備するため、熊本県は基本理念や整備指針を策定し、最初に取り組む災害公営住宅をアートポリス事業で進めている。

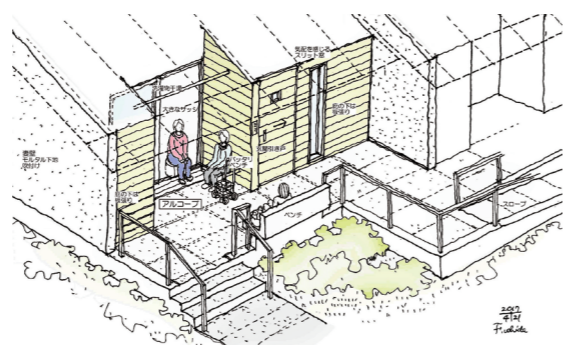
昨年より3市町5団地で設計を進め、1月末から工事に着手した。また、アートポリス事業以外の団地に対しても、コミッショナーが助言をするなどして、整備が進められている。

### 宇土市営境目団地災害公営住宅

#### 孤立を防ぐ「つなぎ」の空間

災害公営住宅では、単身高齢者や高齢夫婦などの世帯が団地の中で孤立せず、周囲とつながりを持てるような配慮が重要なテーマ。そのために、住戸の中の暮らしの気配が外からも感じられるような工夫や仕掛けが提案された。

住戸前の共用廊下からくぼんだスペース(アルコーブ)は、住戸内に入らなくても気軽にしゃべりできたり、洗濯物干しになったりと、住人の生活の様子をうかがい知ることができる「つなぎ」の空間としての役割を担う。通路のベンチは、住民相互のふれあいの場となる。



龍環境計画  
内田 文雄氏



西山英夫建築環境研究所  
西山 英夫氏



### 甲佐町営災害公営住宅 (乙女地区・白旗地区)

#### 農家型の災害公営住宅

この地域は、一日の大半を長靴のまま田畑で過ごし、収穫した野菜や農作業の道具が身近にあるような生活を送っている方が多い。そうした農村らしい生活を支える住まいが提案された。

収穫してきたものを置いたり、リビングの延長として使用することが可能な土間空間。南北方向に張り出した庇の下では、大工仕事をしたり、近所の人と立ち話をしたりと、お互いの気配が感じられる雰囲気をつくり出す。



乙女地区



白旗地区



シーラカンスK&H  
工藤 和美氏



同左  
堀場 弘氏



### 宇城市豊野町響原災害公営住宅 (UR都市機構が整備)

#### ご近所付き合いも広がる団樂の住まい

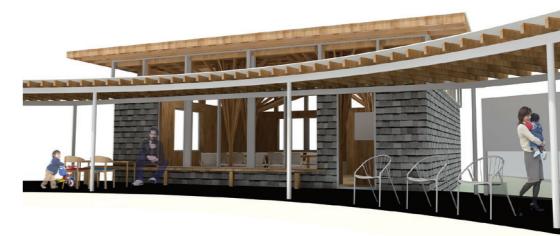
近隣に子育て支援や一般公営の住宅が建つ計画地。1住棟に異なるタイプの住戸を組み合わせることで、多世代間の交流を育むような「団樂の住まい」が提案された。静かで落ち着いた個室を北側に、活発な動きのある居間や玄関を庭のある南側に配置することで、プライバシーと濡れ縁を介したコミュニティ形成に配慮された計画となっている。各住戸からの東西の動線は、西側に配置されたみんなの家を核とする大きな庭につながっていく。(設計者 工藤和美氏、堀場 弘氏)



※検討途中のものであり、今後変更になる可能性があります



みんなの家内観



みんなの家外観

### くまもとアートポリス建築展2017協賛事業

- 8月1日～11月30日  
肥後銀行県庁支店パネル展  
—(株)肥後銀行県庁支店
- 8月8日～9月30日  
みんなの家展  
—NPO HOME-FOR-ALL
- 8月26日  
地引き網体験  
—県立あしきた青少年の家・熊本県環境センター
- 8月27日  
愛・ライフ内牧開設20周年感謝祭  
—介護老人保健施設愛・ライフ内牧
- 8月29日～9月3日  
第29回熊本の建築家作品展  
—(公社)日本建築家協会九州支部熊本地域会
- 9月10日  
くまもとお菓子まつりin阿蘇  
—くまもとお菓子まつりin阿蘇実行委員会
- 9月16日～17日  
住まいの耐震博覧会・木と住まいの大博覧会  
—ナイス(株)
- 10月21日  
賃貸住宅の住環境向上セミナー  
—(公財)日本賃貸住宅管理協会熊本県支部
- 11月3日  
「くまもと型復興住宅」モデルプラン展示・相談会  
—熊本県・熊本県地域型復興住宅推進協議会
- 11月4日  
DIYリノベーション start up @キタクマ(北熊)  
—(株)村田建築設計所
- 11月11日  
うき消防ふれあいフェア  
—宇城幼少年婦人防火委員会、宇城広域連合消防本部
- 11月16日  
くまもと県産材の新たな製品づくりに向けた講習会  
—くまもと県産材共同集出荷センター
- 11月25日  
平成29年度熊本県耐震対策講演会  
—熊本県
- 12月1日  
第30回クリスマスライティングパーティ  
—(公社)日本建築家協会九州支部熊本地域会
- 12月13日  
くまもとの力～熊本型応急仮設住宅はじめて物語  
—(一社)熊本工務店ネットワーク、(一財)熊本県建築住宅センター
- 12月15日  
災害フォーラム 2016年熊本地震被災地の現状と復旧・復興への取り組み  
—(一社)日本建築学会九州支部

# つながる、ひろがる「みんなの家」 ～日本財団みんなの家～

熊本地震で整備した応急仮設住宅(団地)には、84棟の「みんなの家」(集会所)を災害救助費で整備した。20戸未満の小規模な仮設団地を対象に、「日本財団わがまち基金」を活用し(一財)熊本県建築住宅センターと協働して11棟の「みんなの家」を整備することとなった。昨年7月22日に1棟目が完成し、今年3月末までにはすべてが完成する予定だ。

さらに、地震で被災した公民館を再建し、地区の復旧・復興やその先の地域づくりを担う拠点施設として避難所機能を併せ持つ「みんなの家」を10か所を整備することとなり、昨夏から計画に着手した。「みんなの家」が地域づくりの拠点となり、復興の加速化を期待したい。



美里町くすのき平のみんなの家



御船町甘木のみんなの家



宇土市境目第3のみんなの家



宇城市曲野長谷川のみんなの家



嘉島町上六嘉地区での意見交換会



阿蘇市内牧のみんなの家



熊本市城南町さんさん2丁目のみんなの家



南阿蘇村立野駅区での意見交換会

## 小規模仮設団地への整備

- 美里町くすのき平、御船町玉虫、同町甘木のみんなの家  
(設計者)横山俊祐/大阪市立大学+宮本佳明/同左+前田茂樹/大阪工業大学
- 宇城市御領、同市曲野長谷川のみんなの家  
鷹野敦/鹿児島大学+根本修平/福山市立大学
- 熊本市城南町さんさん2丁目、阿蘇市内牧のみんなの家  
矢作昌生/九州産業大学+井手健一郎/リズムデザイン

- 宇土市境目第2、同市境目第3のみんなの家  
内田文雄/龍環境計画+西山英夫/西山英夫建築環境研究所
- 宇土市新松原、室第二(大津町)のみんなの家  
四ヶ所高志/福岡大学+田上健一/九州大学  
+徳田光弘/九州工業大学

## 被災地区(公民館再建)への整備

- 大津町新小屋、同町上揚、同町高尾野、嘉島町上六嘉、同町北甘木のみんなの家  
千葉学/千葉学建築計画事務所
- 南阿蘇村立野駅、甲佐町麻生原、西原村大切畑、同村風当、同村下小森のみんなの家  
塚本由晴+貝島桃代+玉井洋一/アトリエ・ワン

# 第22回くまもとアートポリス推進賞

熊本地震で開催を見送った本賞は2年ぶりに募集を再開し、県内外より35点の応募があった。選考委員会の審査を経て、推進賞2作品、推進賞選賞3作品を選考し、くまもとアートポリス建築展2017熊本シンポジウム第3部にて表彰式を開催。大勢の来場者が見守る中、蒲島知事より表彰状が授与された。



## 推進賞



わかたけ保育園(水俣市)



SA-HOUSE  
(一戸建ての住宅・熊本市)



GALLERY FLOWER GARDEN  
(ギャラリー兼用住宅・宇城市)

## 推進賞



再春館製菓所体育館サクラリーナ(上益城郡益城町)

## 推進賞



熊本県民テレビ新社屋(放送局・熊本市)

## Topics

### 宮城県仙台市の「新浜みんなの家」に 湯前町と水上村から木製パーゴラをプレゼント

「みんなの家」の原点である「宮城野区のみんなの家(宮城県仙台市)」は、仮設団地での役目を終え、昨年4月に、みんなの家があった仮設住宅の入居者の多くがお住まいになっている同市宮城野区の新浜地区に「新浜みんなの家」として移設されました。

その近くに整備された「みんなの広場」(公園)には、湯前町と水上村から木造のパーゴラが寄贈され、2月17日に完成式が執り行われました。

式には、鶴田湯前町長や中嶽水上村長らが出席され、鶴田町長は挨拶で、「熊本地震では新浜町内会からご支援いただき、熊本と仙台の「絆」を感じました。新浜地区の皆さんが、これからも復興へ歩んでいかれることを祈念します。」と述べられました。

